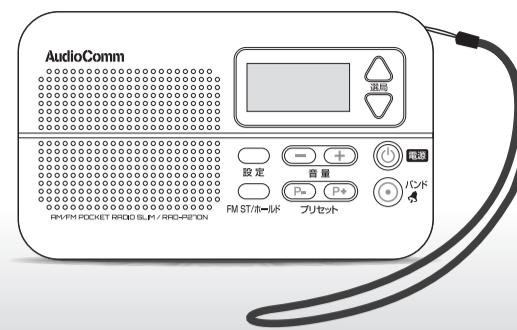


## 保証書付 取扱説明書

## AM/FMポケットラジオ スリム

型番 RAD-P270N  
品番 03-5629

このたびは、AudioComm®AM/FMポケットラジオ スリムをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

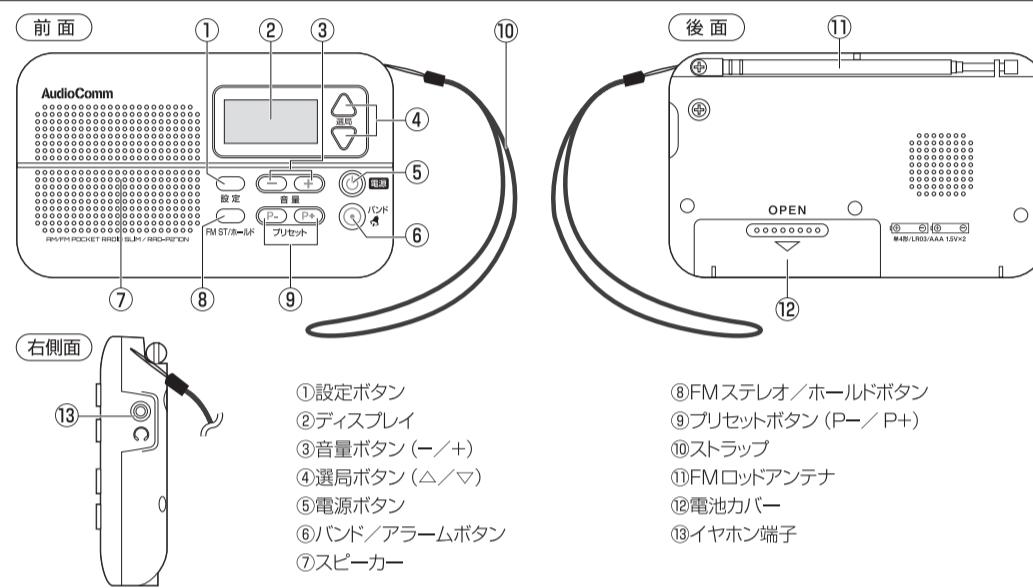


## 免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

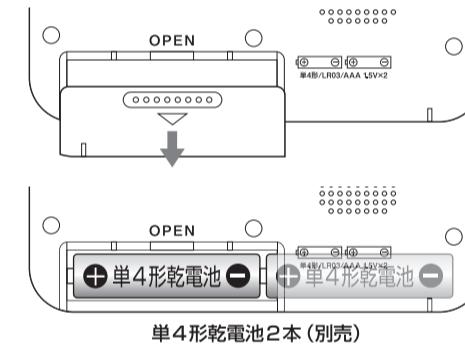
## 各部の名称



## 乾電池の入れかた

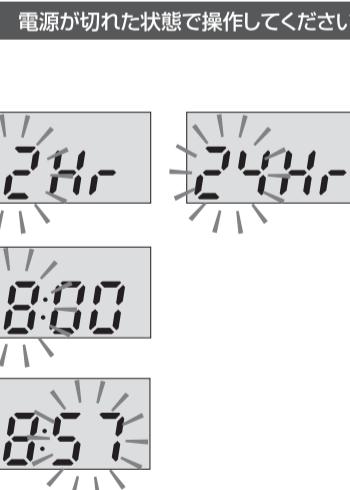
- 1 電池カバーの△部を押しながら下にスライドさせて電池カバーを取り外します。
- 2 単4形乾電池2本(別売)を、  
+と−の向きに注意しながら正しく入れます。
- 3 電池カバーを元どおりにしっかりと閉めます。

長期間使わないときは、液もれを防ぐため乾電池を取り外してください。



## 時刻設定のしかた

- 1 電源が切れている状態で、設定ボタンを押します。
- 2 選局ボタン(△/▽)を押して、  
24Hr(24時間表示)または12Hr(12時間表示)を選び、  
設定ボタンを押します。
- 3 選局ボタン(△/▽)を押して「時」を選び、  
設定ボタンを押します。  
●12時間表示を選んだ場合、午後の時間帯では「PM」が表示されます(AM表示はありません)。
- 4 選局ボタン(△/▽)を押して「分」を選び、  
設定ボタンを押します。  
●点滅が止まり、設定が確定します。



●何も操作しない時間が約5秒間続くと、それまでの設定で時刻が確定し、点滅が止まります。必要に応じて最初からやり直してください。

●ディスプレイにアラームマーク(Ⓐ)が表示されているとき(アラーム設定が有効なとき)は、時刻設定ができません。バンド/アラームボタンを押し、アラームマークを消してから操作してください。

## ホールド機能について

FMステレオ/ホールドボタンを長押しすると、ホールド機能が有効になり、かばんの中に入れたときなどの誤動作を防ぐことができます。

●ホールド機能が有効なときは、ディスプレイにホールドマーク(Ⓐ)が点滅します。

●解除するには、ホールドマークが消えるまで、もう一度FMステレオ/ホールドボタンを長押ししてください。



ホールド機能は電源のオン/オフに関係なく設定できます。

## バックライトについて

乾電池が正しく入っているときは、電源のオン/オフに関係なくいずれかのボタンを押すと、ディスプレイのバックライトが約5秒間点灯します。

## イヤホンで聞くときは

ステレオイヤホン(付属)のΦ3.5mmステレオミニプラグを、本機のイヤホン端子に差し込んでください。

●本機のイヤホン端子はステレオ対応ですので、FMステレオ放送の場合はステレオ音声を楽しめます。FMステレオ放送を楽しむには、FMステレオ/ホールドボタンを押してステレオ受信(FM ST.)に切り換えてください。

●イヤホンを接続すると、スピーカーからの音は聞こえなくなります。

## 静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期にイヤホンを使用すると、耳にびりびりと痛みを感じることがありますが、これはイヤホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気にによるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより影響が軽減されます。

## 安全上のご注意

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使いかたは火災や感電による人身事故につながることがあります。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

## 警告

以下を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されますので必ずお守りください。

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じしたら、すぐに本機から乾電池を取り外す  
・そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- 煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
- 万一、内部に異物や水などが入った場合は、使用を中止する  
・そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- 販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
- 乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する  
・乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。

## 注意

以下を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたる可能性が想定されますので十分ご注意ください。

- 乾電池を挿入するときは極性表示(プラス+とマイナス−の向き)に注意し、表示どおり正しく入れる  
・間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の乾電池は使用しない。また、古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池(例:アルカリとマンガン)と一緒に使わない  
・乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所、振動の多いところに置かない  
・落による故障やけがの原因となることがあります。
- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない  
・故障の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かない  
・火災・感電の原因となることがあります。
- はじめから音量を上げすぎない。長時間、大音量で聴き続けない  
・周囲の迷惑になったり、聴力に悪い影響を及ぼすことがあります。
- 落としたり、重いものを載せたりしない。また、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない  
・故障や破損の原因になることがあります。
- 電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない  
・電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズの原因となります。
- 磁気を使っているカード(クレジットカード、キャッシングカードなど)やカセットテープ、腕時計を本機に近づけない  
・記録された磁気情報を破損するおそれがあります。
- 長期間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す  
・火災・液もれの原因となることがあります。

## 乾電池を安全にお使いいただくために 液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

## 警告

- 火中の投入、加熱、分解をしない
- 取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ショートさせない
- 直射日光や火などの過度の熱にさらさない

## 注意

- +−の表示どおりにいる  
・指定以外の乾電池を入れない
- 使用推奨期限内の乾電池を使用する
- 古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池と一緒にしない
- 使い切った乾電池はすぐに取り出す
- 長期間使わないときは乾電池を取り外しておく

## 保証書

## 持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
  - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
  - (ロ) 買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷
  - (二) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
  - (ホ) 本書のご提示がない場合
  - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります)
  - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
  - (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	AM/FMポケットラジオ スリム	★お買い上げ日： 年 月 日
型番	RAD-P270N	品番 03-5629 保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	ふりがな ★お名前	姓 様
	★ご住所 〒	一
販売店	電話 ( )	印

## 修理メモ

★住所 店名 電話



(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

\*この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

\*この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

\*保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

\*お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

○OHM 株式会社 オーム電機

〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8

<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ

●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは

0120-963-006 048-992-2735

電話受付 平日9:00~17:00

※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

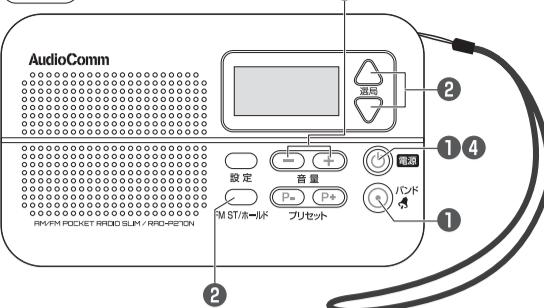
修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ

電話受付 048-992-3970 平日9:00~17:00

※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

## ラジオを聴く

前面

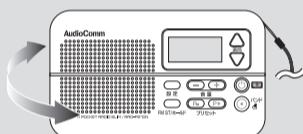


- 電源ボタンを押して電源を入れた後、  
バンド／アラームボタンを押して、  
お聴きになりたいバンド(AMまたはFM)を選びます。  
●バックライトが点灯し、「On」と表示された後、ラジオを受信します。
- 選局ボタン(△／▽)を押して、  
お聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。  
●選局ボタン(△／▽)を長押しすると自動で周波数が送られ、いちばん最初に受信できた放送局で止まります。  
●FM放送受信中にFMステレオ／ホールドボタンを押すと、モノラル受信とステレオ受信を切り換えることができます(ステレオ出力はステレオイヤホン使用時のみ)。  
●FMステレオ受信時に雑音が多いときは、モノラル受信にすると軽減されることがあります。
- 音量ボタン(-/+ )を押して音量を調節します。  
●音量の上げすぎにご注意ください。
- 終了するときは電源ボタンを押します。  
●「OFF」と表示された後、バックライトが消灯し、時刻表示に戻ります。

### 受信状態を良くするには

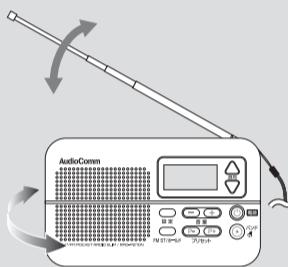
#### AM放送の場合

本機内にアンテナが内蔵されています。本機の向きを変えて最も良く聞こえるように調節してください。



#### FM放送の場合

FMロッドアンテナを伸ばし、本機の方向、角度を変え受信状態が最も良くなるように調節してください。  
※アンテナは水平方向には回転しませんので無理に回さないでください。



※テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離してご使用ください。

※持ち運ぶときは、目をついたりして危険ですので、FMロッドアンテナを縮めた状態で持ち運んでください。

### 故障かなと思ったら

#### 電源が入らない

- 乾電池は正しく装着されていますか。④の向きは正しいですか。
- 乾電池が消耗していませんか。

#### 音が出ない／音が小さい

- 音量が最小になってしまっていますか。
- 電源は入っていますか。
- 正しく選局されていますか。
- 乾電池が消耗していませんか。
- イヤホン端子にイヤホンが接続されていませんか。

#### 雑音が多い／音が悪い

- 乾電池が消耗していませんか。
- 近くで携帯電話を使用していませんか(携帯電話から離して使用してください)。
- テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信していませんか(テレビや蛍光灯から離して使用してください)。
- 電波状況は良好ですか。良くない時間帯や場所で行なうと、意図したとおりに登録されないことがあります。できるだけ電波状況が良い状態で再度お試しください。

#### オートスキャンで放送局が登録されない

- 時刻を正しく設定しましたか(現在時刻とアラーム起動時刻)。
- ラジオ音声を選んだ場合: 放送局は正しく設定しましたか。また、音量設定が最小になってしまっていますか。

### 主な仕様

電 源	DC3V 単4形乾電池×2本(別売)
受信周波数	AM 522—1620kHz FM 76—108MHz
乾電池持続時間	スピーカー使用時 AM受信 約30時間 FM受信 約26時間 イヤホン使用時 AM受信 約34時間 FM受信 約30時間
接続端子	イヤホン端子(Φ3.5mmステレオミニジャック)
時計精度	月差約30秒
外形寸法	幅104×高さ62×奥行17mm(突起物含まず)
質量	約69g(乾電池含まず)
付属品	ステレオイヤホン、ストラップ(本体に固定)、保証書付取扱説明書

※外観及び仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※乾電池持続時間は、アルカリ乾電池新品使用時(音量中程度)の目安です。使用環境により異なります。

※本書のイラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。

●本機の表面が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後にから拭きをしてください。

●シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



シンナー、ベンジン、  
アルコールは  
使用しないでください。

### 保証書とアフターサービスについて

#### 保証書について

この製品には保証書がついており、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

#### アフターサービスについて

●調子が悪いときは修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理で相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理で相談センターにご相談ください。

## オートスキャン(ATS)

設定

ラジオを受信しているときに設定ボタンを長押しすると、周波数が自動で送られ、受信可能な放送局を順にプリセット登録していきます。

- AM放送・FM放送それぞれ最大20局まで登録できます。ただし、手動プリセット登録すでに任意の放送局が登録されている場合、オートスキャンを行なうと放送局が上書きされることがありますのでご注意ください。



オートスキャン中は左図のような表示になり、「SCAN」が点滅します。放送局が登録されると、左上のプリセット番号が増えています。

#### 登録された放送局を受信するには

プリセットボタン(P- / P+)を押してお聴きになりたいプリセット番号を選んでください。  
プリセット番号と「PRESET」は約3秒間表示され、その後は通常の周波数表示になります。

### 手動プリセット登録

よくお聴きになる放送局を任意のプリセット番号に登録し、簡単に呼び出すことができます。

- AM放送・FM放送それぞれ最大20局まで登録できます。ただし、オートスキャンすでにプリセット登録されている場合、手動プリセットで登録すると放送局が上書きされることがありますのでご注意ください。

- 登録したい放送局を受信している状態で、  
プリセット番号を押します。  
●プリセット番号が点滅しますので、点滅している間に②の操作をしてください。

- 必要に応じてプリセットボタン(P- / P+)を押し、  
登録したいプリセット番号を選びます。  
そのまましばらく待つか、  
設定ボタンを押すと登録が確定します。



#### 登録された放送局を受信するには

プリセットボタン(P- / P+)を押してお聴きになりたいプリセット番号を選んでください。  
プリセット番号と「PRESET」は約3秒間表示され、その後は通常の周波数表示になります。

### スリープタイマー

電源が切れた状態で操作してください。

電源ボタンを長押しすると、自動で電源が切れるまでの時間を設定できます。



電源ボタンを長押しすると、最初に「SLEEP」と「90」が表示されます。  
さらに電源ボタンを押すと、押すたびに「80」、「70」、「60」…と電源が切れるまでの時間(分)が変化しますので、設定したい時間が表示されたら、そのまましばらく待ちます。

- しばらくすると設定が確定して、ラジオを受信します(スリープ設定が有効なときは「SLEEP」が表示されます)。
- スリープ設定が有効なときは電源ボタンを長押しすると、電源が切れるまでの残り時間を約5秒間表示します。
- スリープ設定を解除するには、電源ボタンを短く押して電源を切るか、電源ボタンを長押しした後、さらに数回押して「OFF」を表示させてください。そのまましばらくするとスリープ設定が解除された状態で、受信表示に戻ります(「SLEEP」が消えていることをご確認ください)。



### アラーム

電源が切れた状態で操作してください。

本機のアラームは、電子音のほかラジオ音声をアラーム音として設定できます。ラジオ音声をアラーム音にする場合は、あらかじめ希望の放送局を受信し、音量を調節したうえで電源を切り、以下の操作をしてください。電子音の場合、起動音量は一定ですが、ラジオ音声の場合は最後に電源を切ったときの放送局及び音量でアラームが起動します。

- 電源が切れている状態で、  
バンド／アラームボタンを押します。  
●アラームマーク(④)と設定時刻が表示されます。設定時刻は約4秒後に現在の時刻表示に戻ります。



- 設定ボタンを長押しします。



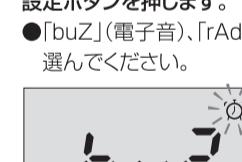
- 選局ボタン(△／▽)を押してアラーム音を選び、  
設定ボタンを押します。



- 選局ボタン(△／▽)を押してアラームを起動させたい「分」を選び、  
設定ボタンを押します。



- 選局ボタン(△／▽)を押してアラーム音を選び、  
設定ボタンを押します。



アラーム設定が有効なときは電源のオン／オフに関係なく、アラームマークが表示されます。

### アラーム設定時のご注意

- 何も操作しない時間が約4秒間続くと、それまでの操作で起動時刻などが確定し、アラーム設定が終了します。設定途中で終了した場合でもアラームマークが表示され、起動時刻になるとアラームが起動します。必要に応じて最初からやり直してください。

- アラームマークが表示されているときに設定ボタンを押すと、設定をやり直すことができます。
- アラームを解除するには、バンド／アラームボタンを押してアラームマークを消してください。
- アラームマークが表示されているときは現在時刻の設定はできません。バンド／アラームボタンを押していったんアラームを解除してから操作してください。

### ラジオを聴いている状態でアラーム時刻になると

- アラーム音としてラジオ音声を設定していた場合は、そのままラジオを受信します。
- アラーム音として電子音を設定していた場合は、ラジオ受信を中止し、電子音が鳴ります。

アラームが鳴ったら ※アラームを止める操作をしない場合、約1時間鳴り続け、その後自動的に電源が切れます。

- アラームを止めるには電源ボタンを押します。

ただしこのままですと、翌日の同じ時刻に再びアラームが鳴ります。アラームを鳴らないようにするには、バンド／アラームボタンを押してアラームマークを消してください。

- スヌーズ機能について

アラームが鳴っているときにバンド／アラームボタンを押すと、一時的にアラーム音が停止します。一時停止中はアラームマークが点滅し、そのままになると約10分後に再度アラームが鳴ります。スヌーズ中にスヌーズ自体を解除したいときは、バンド／アラームボタンを押してください(アラームマークの点滅が止まります)。

- ラジオ音声をアラーム音として設定していた場合、スヌーズは1回だけ有効になり、アラーム再起動後にバンド／アラームボタンを押すと、バンドを切り換える動作になります(電子音を設定していた場合は何度でもスヌーズが有効になります)。